

## アカミミガメは防疫に役立つ？ボウフラを食べるアカミミガメの幼ガメを確認

藤本達弥

654-0049 兵庫県神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

Does red-eared slider play the role of epidemic prevention ? Predation record of red-eared sliders on wiggler.

By Tatsuya FUJIMOTO

Kobe Suma Aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, Hyogo, 654-0049, Japan.

平成28年5月30日、神戸市西区中津のため池の一つ「大池」の周辺の集水桝で、アカミミガメの幼体2個体を確認した(図1).

集水桝はササが堆積し、わずかな水たまりにはボウフラが大量に発生していた。アカミミガメはササの葉の下に隠れて、目の前を動くボウフラを盛んに捕食していた(図2).

ため池では、水際の浅い場所でアカミミガメの幼体をよく見かける。湿生植物の繁茂等で水の動きがない場所ではボウフラがわきやすく、ため池は蚊の供給源となっている。最近、蚊を媒介した様々な病気が報道されているが、これらが一度国内に入ってしまうと、その対策は非常に困難となる。

アカミミガメもその一つであるが、その幼体が捕食しているのであれば、防疫に多少なりとも役立っているのではないかと考えられる。アカミミガメには色々な問題があるが、一つよいところもあると思った次第である。



図1. 集水桝内でボウフラを捕食していたアカミミガメの幼体2個体



図2. ボウフラを捕食するアカミミガメの幼体